

平成29年度関東倶楽部対抗栃木第1会場予選競技 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 18倶楽部 ・ 144名)

期日：5月25日(木)

場所：風月カントリー倶楽部 北・中コース

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番(北コース)よりスタート

Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	7:30	大垣 春男	希望丘	小嶋 正美	千成	手塚 良美	ロイヤル	高野 弘	ラインヒル
2	7:39	川島 憲二	新宇都宮	川島 好晴	皐月・佐野	佐藤 友久	唐沢	石黒 浩幸	東ノ宮
3	7:48	田村 善二郎	風月	舘野 章	芳賀	石井 誠	鶴	川田 勲	広陵
4	7:57	船田 隆	南栃木	武田 幸雄	アローエース	池田 広三	メイフラワー	仲島 陽一	矢板
5	8:06	川崎 博和	西那須野	白石 忠信	大平台	林田 征男	希望丘	井伊 達朗	ロイヤル
6	8:15	山崎 道孝	鶴	井尾 光義	唐沢	高倉 健一	風月	永嶋 俊幸	新宇都宮
7	8:24	五月女 利雄	南栃木	北條 勝	メイフラワー	中道 徹	西那須野	松岡 修三	千成
8	8:33	入江 胖	ラインヒル	橋本 和男	皐月・佐野	高久 浩	東ノ宮	永井 孝之	芳賀
9	8:42	大熊 章夫	広陵	山口 裕郷	アローエース	添田 修司	矢板	吉田 定雄	大平台
10	8:51	市村 宗衛	希望丘	山口 勉	ラインヒル	川島 美則	唐沢	田中 実	芳賀
11	9:00	遠藤 岳志	矢板	森 健	南栃木	中上 秀樹	千成	河又 修二	新宇都宮
12	9:09	大山 茂	東ノ宮	小松崎 真	鶴	渡辺 秀樹	アローエース	樋口 隆之	西那須野
13	9:18	梅山 哲矢	ロイヤル	和泉 一夫	皐月・佐野	船山 廣美	風月	小山 務	広陵
14	9:27	川島 喜一	メイフラワー	関口 俊一	大平台	篠崎 富雄	希望丘	増川 隆	新宇都宮
15	9:36	和田 学	風月	小野田 吉一	南栃木	阿見 啓司	西那須野	磯 甲	千成
16	9:45	吉田 哲己	皐月・佐野	相田 喜久夫	芳賀	池上 芳三	アローエース	山崎 達男	大平台
17	9:54	角野 守	ロイヤル	新井 道夫	唐沢	増渕 浄夫	鶴	石阪 安行	メイフラワー
18	10:03	本多 利久	ラインヒル	幕田 俊信	東ノ宮	田中 力男	広陵	半田 容一	矢板

10番(中コース)よりスタート

Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
19	7:30	手塚 芳行	希望丘	木下 輝洋	皐月・佐野	加藤 道雄	鶴	張田 巧	矢板
20	7:39	飯山 敏弘	千成	佐藤 篤	唐沢	入江 史朗	広陵	鈴木 教郎	西那須野
21	7:48	松本 武宣	ロイヤル	山田 正	東ノ宮	吉岡 和幸	南栃木	西埜 誠洋	大平台
22	7:57	小林 圭一	ラインヒル	塩野目 規雄	風月	篠原 三成	アローエース	泉 修	新宇都宮
23	8:06	船越 秀人	芳賀	島田 賢一	メイフラワー	横須賀 可典	希望丘	亀井 隆	唐沢
24	8:15	小島 伸和	南栃木	若林 雄二郎	千成	仲田 靖	東ノ宮	小野崎 悟	アローエース
25	8:24	勝俣 彰夫	メイフラワー	塩野目 満幸	風月	鈴木 周吾	ロイヤル	北山 茂男	ラインヒル
26	8:33	望月 泰廣	芳賀	大森 弘幸	矢板	伊藤 幹也	新宇都宮	笠井 昌孝	鶴
27	8:42	瀬口 卓	大平台	早乙女 剛史	皐月・佐野	半田 敏彦	広陵	笹岡 伸司	西那須野
28	8:51	関 久昭	東ノ宮	高波 真司	希望丘	柴田 隆司	メイフラワー	田島 裕之	千成
29	9:00	大橋 新一	風月	大橋 由紀夫	矢板	手塚 高司	ロイヤル	中村 豊	芳賀
30	9:09	薄井 真悟	西那須野	早乙女 都吉	ラインヒル	田村 真利	鶴	大谷 日出雄	大平台
31	9:18	菅俣 倫吉	新宇都宮	加藤 崇	広陵	中島 正春	皐月・佐野	富永 勉	南栃木
32	9:27	遠藤 仁史	唐沢	竹迫 清人	アローエース	古谷野 光雄	希望丘	塩澤 修次	風月
33	9:36	橋本 義孝	西那須野	森村 正人	千成	高山 聡史	芳賀	岡野 茂樹	大平台
34	9:45	山下 勝弘	鶴	小畑 健史	ロイヤル	出口 功	ラインヒル	杉田 光彦	広陵
35	9:54	澤田 源作	新宇都宮	安田 晃一	南栃木	大谷 昇	皐月・佐野	小川 豊	アローエース
36	10:03	千葉 孝	唐沢	宇野 晃二	メイフラワー	松本 泰明	東ノ宮	和光 利一	矢板

競技委員長 露木実

平成 29 年度 関東倶楽部対抗栃木第 1 会場予選競技

開催日 : 5月 25 日(木)

開催コース : 風月カントリー倶楽部 北・中コース

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ウォーターハザード(規則 26-1)
ウォーターハザードは黄杭または黄線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
 - 排水溝
 - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
 - 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)
 - 距離表示用の人工のヤーデージマーク(パッティンググリーン前後のものを含む)
- コースと不可分の部分
 - 樹木やその他の恒久的な物件に巻きついたり、密着させてあるもの。
 - ウォーターハザード内にある人工の壁や杭でできた構造物。
- パッティンググリーン上で球が偶然に動かされること
規則 18-2, 20-1 は以下の通りに修正される。
プレーヤーの球がパッティンググリーン上にある場合、その球やボールマーカーがプレーヤーまたはキャディーや携帯品によって偶然に動かされても罰はない。その球やボールマーカーはリプレースされなければならない。このローカルルールはプレーヤーの球やボールマーカーがパッティンググリーン上にあり、いかなる動きも偶然である場合にだけ適用する。
注: パッティンググリーン上の球が風、水あるいは重力などの他の自然現象の結果として動かされたものと判断された場合、その球はその新しい位置からあるがままの状態プレーされなければならない。また、そのような状況で動かされたボールマーカーはリプレースしなければならない。
- 予備グリーンはスルーザグリーンとする。
- 電磁誘導カート用の 2 本のレール
電磁誘導カート用の 2 本のレールは、全幅をもってプレー禁止の修理地とする。ただし、スタンスのみが障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。
- ホールとホール間の白杭
ホールとホール間の白杭を結ぶ線を越えていった球は、球が白杭を結ぶ線の向こう側のコース上に止まっている場合でも、アウトオブバウンズの球とする。
- 高圧送電線
球が高圧送電線に当たった場合は、そのストロークを取り消し、ゴルフ規則 20-5 にしたがって罰なしに再プレーしなければならない。その球をすぐには取り戻せない場合は、別の球に取り替えることができる。

距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AｸﾗｽYards	521	377	184	352	418	140	379	392	533	3296
BｸﾗｽYards	521	398	184	389	418	171	417	392	574	3464
Par	5	4	3	4	4	3	4	4	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
375	184	390	542	389	336	148	534	352	3250	6546
375	184	390	573	420	362	167	580	374	3425	6889
4	3	4	5	4	4	3	5	4	36	72

競技の条件

1. 参加資格
プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。
2. 委員会の裁定
委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
3. 使用クラブの規格
『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。
4. 使用球の規格
『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。
5. ゴルフシューズ
正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。
6. プレーの中断と再開
 - (1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b,c,d に従って処置すること。
 - (2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。
険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。
 - (3) プレーの中断と再開の合図について
プレーの即時中断 : 1 回の長いサイレン
プレーの中断 : 連続する 3 回の短いサイレン(繰り返し)
プレーの再開 : 2 回の短いサイレン(繰り返し)
と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。
7. 練習
ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。
8. キャディー(規則 6-4 注)
正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。
9. 競技終了時点
競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 競技委員会は規則 33-7 に基づき、すべての競技関係者、ギャラリーへの暴言等を含めエチケットの重大な違反があったプレーヤーを競技失格とすることができる。
4. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 8 コイン(200 球)を限度とする。
5. アプローチ・バンカー練習場は、使用禁止とする。

競技委員長 露木実